



## 地域連携室 “あざれあ” 便り 30号

2月に入り、猛威を振るったインフルエンザも徐々に終息に向かっているようです。

日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対しご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて今月は、25年度より継続実施している「在宅診療報酬研修会準備委員会」の活動についてご報告したいと思います。



### 第4回 在宅診療報酬研修会準備委員会



(第3回：スカイプでの質疑応答風景)

平成25年度から医療事務に携わるみなさんを対象として始めた準備委員会も、平成27年1月19日で4回目となりました。今回は今後の準備委員会のあり方についても話し合わせ、継続的な実施の方向性が検討されました。今までは「あざれあ」が中心となり研修会を企画運営していましたが、今後は「あざれあ」はサポート役となり、実務に携わる皆さんが中心となって研修会を企画されることになりました。毎回熱心な取り組みが続いている各研修会の内容は表1の通りです。

第1回	H25/10/24	算定に困った事例の持ち寄り	困難事例が21事例集まりました
第2回	H26/2/21	2事例の算定・連携方法の検討	困難事例のうち2事例を全員で検討し意見交換を行いました
第3回	H26/7/28	スカイプを活用した講義・質疑応答	参加者のレベルの高さが講師より評価されました
第4回	H27/1/19	診療報酬に関する研修会打ち合わせ	今後の研修会に向けて、特定医療材料について等様々な勉強会の案が出され、関係機関にアンケートを実施することになりました。

(表1)



事例検討では、事例の概要、診療内容、具体的な算定内容(往診料等、管理料、加算、医療材料、麻薬使用、その他)、不明な点、困ったことなどを具体的にあげて参加者が意見交換することで、診療報酬の妥当性についての学びが深まっています。

次回は医師も含めた勉強会を3月に計画しています。内容についてはアンケート調査を実施した上で、次の5項目の中から希望の多かったものを選んで勉強会を開催したいと考えています。(①往診、訪問診療について ②特定医材料について ③難病法について ④特別養護老人ホーム等の往診について ⑤訪問看護の使い方について)

実際の診療報酬につながる研修会です。多数の先生方のご参加をお待ちしております。



平成 27 年 1/1 から 1/31 までの相談実績 (相談件数 : 21)

	月日	相談元	相談内容	支援経過・結果
1	1/5	居宅	家族関係が悪化した事例検討	包括や民生委員との連携及び個別ケア会議開催の提案
2	1/5	居宅	多系統委縮症患者の往診等について	①在宅医の紹介 ②訪問看護導入の提案
3	1/6	市民	相談訪問対応依頼	①訪問対応及び訪問看護利用提案 ②訪問看護の調整
4	1/7	訪問看護	IVH の方の退院後の訪看利用	サービス提供についてメール回答
5	1/7	MSW (市外)	往診可能な医師の紹介依頼	最新版資源マップにて情報提供
6	1/9	包括	毎日の点滴を希望する患者への対応について	①がん末期であれば訪看医療保険で対応可能。②訪看休日料金確認
7	1/9	相談員	泌尿器科で往診可能な医師の紹介依頼	①専門的な往診困難 ②訪看が医療機関と連携することを提案
8	1/19	居宅	認知症患者の専門医への受診	認知症疾患医療センター、認知症カフェの紹介
9	1/19	相談員	個人的な ACP 説明対応について	本人の意向であれば対応可能
10	1/19	MSW (市外)	緩和ケア対象患者の在宅医紹介依頼	①近隣の在宅医の紹介 ②紹介医師のカンファレンス出席
11	1/19	包括	受診困難患者の往診について	往診可能な医師の紹介
12	1/19	MSW (市外)	往診可能な医師の紹介依頼	①医師の紹介 ②東広島在宅ネットの紹介
13	1/20	MSW (市内)	入所予定のある患者の退院後の訪看利用について	主治医から指示書が出されれば訪看の利用可能
14	1/21	訪問看護	患者家族のレスパイトケア	ボランティア、地域の力など検討
15	1/22	医師	24 時間カフティーポンプ管理をした場合の加算について	高カロリー輸液を使用した場合のポンプ管理加算は可能
16	1/22	MSW (市内)	薬剤の手配可能な薬局	薬局に問い合わせ対象薬局紹介
17	1/23	居宅	同行訪問依頼	①同行訪問 ②在宅医の調整
18	1/24	訪問看護	往診可能な医師の紹介依頼	近隣の医師の情報提供及び調整
19	1/26	訪問看護	複数の訪問看護事業の利用	ケアプランに明記されれば可能
20	1/26	居宅	漢方薬治療を中心とした病院	近隣の病院の紹介
21	1/27	居宅	透析可能な入院対応医療機関	医療機関の紹介

今月は往診や近隣の在宅医の紹介依頼が 11 件あり、情報提供や調整をしています。そのうち 3 件は市外の医療連携室の相談員からの相談でした。年度末には最新版「地域資源マップ」を配布します。一段と充実した内容を情報提供できると思います。また市民やケアマネからの依頼により、訪問してご相談にも応じています。市民の皆様が安心して地域で療養生活を続けることができるように、地域のコーディネータとしてこれからも全力で支援していきます。

